

時代	西暦	年号	会津の主なきごと
安土桃山時代	1593年	文禄 2年	蒲生氏郷、大きな天守閣を持つ城を築き「鶴ヶ城」と名付け城下町を作り産業の発展を図る。キリスト教伝わる。
	1598年	慶長 3年	蒲生にかわり、上杉景勝が会津の領主になる。
	1600年	慶長 5年	上杉景勝、家康と対立。神指城を築き始めるが中止させられる。家康は会津攻めを中止し関ヶ原の戦いに向かう。
	1601年	慶長 6年	上杉景勝は米沢に移され、蒲生秀行が会津領主となる。
江戸時代	1627年	寛永 4年	加藤嘉明、会津領主となる。
	1639年	寛永 16年	加藤明成、鶴ヶ城改築に着手。西出丸・北出丸を増築。
	1643年	寛永 20年	保科正之（家光の弟）会津の藩主となる。産業を奨励し社倉制を作り、学問をすすめた。
	1664年	寛文 4年	文治主義の政治が行われる。儒学者横田三友（俊益）が会津で初めての学校、稽古堂を建てる。
	1696年	元禄 9年	将軍の命により、保科氏は姓を松平と改める。
	1720年	享保 5年	南山御蔵入（南会津）地方に百姓一揆が起きる。
	1749年	寛延 2年	猪苗代で起こった一揆が各地に波及、農民若松城下に強訴。
	1783年	天明 3年	天明の大ききん。酒造を禁止し窮民に社倉米を与える。
	1787年	天明 7年	家老田中玄宰の案で藩政の改革をすすめる。
	1801年	享和 元年	会津藩校日新館ができる。
1862年	文久 2年	会津藩主松平容保、京都守護職になる。	
1866年	慶応 2年	京都蛤御門の戦いが起きる。	
明治時代	1867年	慶応 3年	大政奉還・王政復古
	1868年	慶応 4年	鳥羽・伏見の戦いが起きる。（戊辰の役が始まる）
	明治 元年	明治 元年	薩摩・長州などの西軍が会津を攻撃する。 白虎隊が出陣・活躍したが自刃する。 会津軍、鶴ヶ城に籠城する。 会津藩の降伏。会津に世直し一揆起きる。
	1882年	明治 15年	自由民権運動さかん。福島事件起きる。
	1888年	明治 21年	磐梯山噴火。檜原・秋元・小野川の3湖と五色沼できる。
1889年	明治 22年	若松に町制がしかれる。	
1899年	明治 32年	若松に市制がしかれる。 郡山・会津若松間に鉄道が通る。	